

第5学年道徳科「よりよい学級集団を目指して」

学習指導者 岡根 平

今日の自分の学びを正確に捉えることができるように、これまでの自分の考えと今の考えを比較し、異同を捉えるという方法を習得させていきました。また、単元を通して屋島集団宿泊学習での活動や、それに向けての学級活動の後に、「よりよい学級集団になるためには何が必要か」というテーマについて考えたことを記録・蓄積させ、学習前後の考えを比較しやすくしました。

なぜ、えり子は絵の完成に向けてがんばれたのか

【見通し】



単元のテーマを確認した後、宿泊学習を通して上手くいった・いかなかったと感じた活動についてのアンケートや写真を提示し、似た場面が教材になかったか問うことで自己と教材のつながりを感じさせ、目当てについて考える意欲を高めました。

【行動】

やる気が出なかったえり子が、どうして絵の完成に向けて頑張れたのか話し合い、「自分の役をしっかりとやろう」「自分が後悔しないように」「みんなのためにがんばろう」など、様々な思いがえり子の頑張りたい気持ちを支えていたことを捉えました。その後、それらの気持ちを色分けし、自分ならどの気持ちを大切にしたいかを考え、選んだ気持ちとその理由を友達と交流することで、考えが変容したり、それぞれの気持ちのつながりを捉えたりし、よりよい学級集団になるために大切なことについて考えていました。



【振り返り】

単元を通して、「よりよい学級集団になるために大切なものは何か」という視点で振り返り、キャンプファイヤーでの四つの火を示したシートに蓄積しました。本時では、自分の学びを正確に捉えるため「前の自分の考えと比べる」という方法を想起させ、これまでの振り返りを見返したことで、本時新たな考えを見付けたり、今まで考えていたことについてさらに強く感じたり、自信をもったりする姿が見られました。



成果と課題

○学校行事や学級活動を含めて単元を構成し、一つのテーマを設定することで、体験を通して感じたことと本時の道徳の時間で考えたことをつなぎながら、より自分事として考えていくことができた。

●これまでの振り返りを見返すだけでなく、本時の振り返りを記録したカードを、四つの火を示したシートのどこに位置付けるかを考える時間も設定することで、これまでの考えとの関連をより意識し、比較できたのではないかな。